

現代法学部生の履修モデル

現代法学部 1年次の履修モデル

専門知識を生かして行動力や創造力を発揮していくには、幅広い分野にまたがる「教養」が必要になります。大学があらかじめ指定する必修または履修必修科目がかなりの数にのぼりますが、1年間で履修可能な48単位のうち、みなさんの興味・関心に従い、卒業要件を踏まえながら適宜選択してください。

総合教育科目	教養講義科目・スポーツ科目 ・教養演習科目	みなさんの興味・関心に応じ、下記現代法学部選択必修に加えて4～14単位の履修を勧めます。	
	教養講義科目 現代法学部選択必修	みなさんの興味・関心に応じ、8単位以上の履修を勧めます。	
	語学科目	必修語学	英語8単位必修です。 英語プレイスメントテストの結果に基づき大学が指定します。 (1年次の留学生は日本語4単位を必修とします)
		選択語学	みなさんの興味・関心に応じ適宜選択してください。
	ベーシック科目	みなさんの興味・関心に応じ適宜選択してください。	
	コンピュータ・リテラシー入門	2単位必修です。大学が指定します。	
基本科目	A群(法学基本科目)必修	「リーガルリテラシー入門」4単位必修です。大学が指定します。	
	A群(法学基本科目)履修必修	「憲法基礎(日本国憲法)」「民法基礎」「刑法基礎」の3科目6単位を大学が指定します。	
	B群(法学基幹科目) C群(法学関連科目)	みなさんの興味・関心に応じ適宜選択してください。なお1年次ではこの科目群を選択しなくても構いません。	
コア科目		「消費者問題と政策」「環境問題と政策」「福祉問題と政策」(いずれも4単位)の3科目のうち1科目を必ず履修してください。	
演習科目・キャリアデザイン科目		みなさんの希望を参考にして「文献講読1」2単位を大学が指定します。また、法プロフェッショナルプログラムに所属が決定した場合には「法チュートリアルI」2単位を指定します。	

*展開科目は1年次で履修できる科目はありません(「法律資格B」「法律資格C」の単位認定のみ)。

*1年次のうちにTOEIC400点以上を目指しましょう。

*法学検定ベーシック試験など所定の資格試験に合格すると、申請により「法律資格A」2単位を履修制限単位数以外で認定しますのでチャレンジしてみてください。

*法プロフェッショナルプログラムに所属する場合には、11月に「法学検定ベーシック」試験に合格し、1月にエントリー、2月に試験を受ける必要があります。また、一定の成績基準も設けられています。詳細は年度初め及び12月の説明会で確認してください。

*ビジネス法プログラムに所属する場合には、一定の成績基準が設けられています。条件を満たした学生は全員所属することになります。詳細は12月に開催する説明会で確認してください。

現代法学部 2 年次以降の履修モデル

- * 2 年次では全学生に「裁判傍聴演習」「キャリアデザイン基礎」を履修指定しています。
- * 希望進路を視野において、5 つの履修モデルを設定していますが、本モデルは一例です。
- * 履修可能年次にかかわらず、履修モデルでは上級年次で担当しているところもあります。
- * 年度により休講または曜日時限が重なる場合があります。
- * 総合教育科目も卒業要件を踏まえながら、必要に応じ適宜選択してください。

①法科大学院進学・法律難関資格合格型履修モデル

* 1 年次のうちに「法プロフェSSIONALプログラム」への所属をすすめます。

	2 年次	3 年次	4 年次
基本科目	「憲法（人権）」「憲法（統治機構）」「民法（契約法）」「民法（不法行為法）」「民法（家族法）」「刑法」など	「民法（物権法）」「民法（債権担保法）」「裁判とADR」「民事手続法」「刑事手続と法」など	「卒業研究」 卒業要件を考慮に入れながら、2・3 年次で修得できなかった科目を履修してください。
展開科目	「企業組織と法」「企業取引と法」「国際社会と法」「現代行政法」など	「雇用と法」「知的財産と法」「商取引と法」「税と法」など	
コア科目	「消費者・環境・福祉」の3つのコアから関心に従い、科目を選択して学習		
演習科目・キャリアデザイン科目	「演習（憲法・行政法・刑事法・民法・訴訟法をテーマとする）」	「演習（憲法・行政法・刑事法・民法・訴訟法をテーマとする）」または「オフキャンパス・ワークショップ」	

②国・地方自治体の公務員型履修モデル

	2年次	3年次	4年次
基本科目	「政治学基礎」「憲法（人権）」「憲法（統治機構）」「民法（契約法）」「民法（不法行為法）」「民法（家族法）」「刑法」「市場の経済学」など	「民法（物権法）」「民法（債権担保法）」など	「卒業研究」
展開科目	「現代の行政」「国際社会と法」「現代行政法」など	「行政救済法」「地方財政論」「地方自治と法」「雇用と法」「税と法」など	卒業要件を考慮に入れながら、2・3年次で修得できなかった科目を履修してください。
コア科目	「消費者・環境・福祉」の3つのコアから関心に従い、科目を選択して学習		
演習科目・キャリアデザイン科目	「演習（憲法・行政法・租税法をテーマとする）」	「演習（憲法・行政法・租税法をテーマとする）」または「オフキャンパス・ワークショップ」「キャリア形成支援」	

③ビジネス法務型履修モデル

* 2年次よりビジネス法プログラムへ所属することをすすめます。

	2年次	3年次	4年次
基本科目	「民法（契約法）」「民法（不法行為法）」「民法（家族法）」「企業論」「簿記原理」「会計学原理」「市場の経済学」など	「民法（物権法）」「民法（債権担保法）」「裁判とADR」「民事手続法」「財務諸表論」など	「卒業研究」 卒業要件を考慮に入れながら、2・3年次で修得できなかった科目を履修してください。
展開科目	「企業組織と法」「企業取引と法」など	「雇用と法」「競争と法」「知的財産と法」「商取引と法」「投資サービスと法」「税と法」「法と経済」など	
コア科目	「消費者・環境・福祉」の3つのコアから関心に従い、科目を選択して学習		
演習科目・キャリアデザイン科目	「演習（ビジネス法・租税法をテーマとする）」	「演習（ビジネス法・租税法をテーマとする）」または、「ビジネス法ゼミナール」「オフキャンパス・ワークショップ」「キャリア形成支援」	

* ビジネス法プログラムに所属した場合、2年次に基本科目「基本ビジネス法1」「基本ビジネス法2」を履修指定します。また、3年次に演習科目「ビジネス法ゼミナール」の履修をすすめます。

(参考) ビジネス法プログラム修了要件

		必要単位数
必修	「基本ビジネス法1」「基本ビジネス法2」	4単位
ビジネス法 選択必修	「民法（契約法） a / b」「企業組織と法 a / b」「競争と法 a / b」「雇用と法 a / b」「税と法 a / b」	12単位
民法 選択必修	「民法（不法行為法）」「民法（債権担保法）」「民法（物権法）」「民法（家族法）」「企業取引と法 a / b」	4単位
経営・会計 選択必修	「簿記原理 a / b」「会計学原理 a / b」「財務諸表論 a / b」	4単位
ビジネス法演習 選択必修	「ビジネス法ゼミナール」または指定された「演習」	4単位
選択	「手形小切手法」「知的財産と法」「投資サービスと法」「消費者契約と法」「商品安全と法」「消費者信用と法」「企業の環境管理」「企業論 a / b」「市場の経済学 a / b」「商取引と法 a / b」「法と経済」「法律資格B」	6単位
合計		34単位

④医療・社会福祉・NPO型履修モデル

* 1年次または2年次のうちに、総合教育科目で、「福祉論」「NPO論」の履修をすすめます。

	2年次	3年次	4年次
基本科目	「民法（契約法）」「民法（不法行為法）」「市場の経済学」「会計学原理」「企業論」など	「裁判とADR」「民事手続法」「民法（物権法）」「民法（債権担保法）」など	「卒業研究」
展開科目	「国際関係論」「国際社会と法」「現代行政法」など	「行政救済法」「地方自治と法」「雇用と法」「税と法」「商取引と法」など	卒業要件を考慮に入れながら、2・3年次で修得できなかった科目を履修してください。
コア科目	「消費者」または「福祉」のコアから関心に従い、科目を選択して学習		
演習科目・キャリアデザイン科目	「演習（社会福祉をテーマとする）」	「演習（社会福祉をテーマとする）」または「オフキャンパス・ワークショップ」「キャリア形成支援」	

⑤国際関係型履修モデル

*国際学プログラムの単位をすべて修得することを目指しましょう

*1年次または2年次のうちに、総合教育科目で、「平和学」「人権とマイノリティ」「NPO論」の履修をすすめます。また、2年次以降、外国に関連するテーマの「総合教育演習」もおすすめします。なお、総合教育科目は3年次までに修得できれば結構です。

*1年次のうちにTOEIC400点以上を目指しましょう。

	2年次	3年次	4年次
基本科目	「国際開発協力」「政治学基礎」など	自らの関心に従い、卒業要件を考慮にいれながら科目を選択して履修	英語論文による「卒業研究」
展開科目	「国際関係論」「国際社会と法」など	自らの関心に従い、卒業要件を考慮にいれながら科目を選択して履修	
コア科目	「国際環境法」(3年次)をはじめ、「消費者・環境・福祉」のコアから関心に従い、科目を選択して学習		卒業要件を考慮に入れながら、2・3年次で修得できなかった科目を履修してください。
演習科目・キャリアデザイン科目	「演習(国際関係をテーマとする)」または「英文講読1」「英文講読2」	「演習(国際関係をテーマとする)」または「英語論文基礎」「キャリア形成支援」	

*国際学プログラム修了要件は以下のプログラム修了要件科目すべてに合格する必要があります。

プログラム修了要件科目(30単位)	「英文講読1」「英文講読2」(各2単位)
	「国際関係論」、「国際開発協力」、「国際社会と法」 (以上、国際政治・経済・法＝国際学基礎系科目、12単位)； 「国際環境法」、「平和学」、「人権とマイノリティ」、「NPO論」 (以上、環境・平和・人権・市民＝個別主題科目、14単位)

なお上級オプション科目として 「英語論文基礎」(2単位)「卒業研究」(英語論文)(4単位)の履修も勧めます。